

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		おおすみ児童発達支援センター		公表日 2026年 2月 27日		
		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと 思われる点など	課題や改善すべき点
環境・ 運営・ 体制整備	1	訪問支援に使用する場合の教具教材は適切であるか。	○		・教具教材を使ったことがないのでわからない。 ・教具教材はない。 ・筆記用具のみではないのか。 ・わからない。	・現在筆記用具以外に教具教材は使用していない。
	2	利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。		○	・小集団に入る職員が少ない中訪問に行くので、訪問に行けない場合がある。 ・日によっては足りないこともある。 ・退職者が複数いたため少なくなった。 ・行ける職員が増えたら良いと思う。 ・職員確保に努める。 ・専属の訪問支援員がいると良い。	・R8年度は職員増員により解消する見込み。
業務改善	3	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○		・報告を聞き共有している程度にとどまっている。 ・わからない。	・翌日の振り返りで共有。 ・前回の記録を見返した上で訪問している。
	4	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		・わからない。	・毎年2月にホームページ上に公表している。
	5	従業員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○			
	6	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	○		・わからない。	・評価機関での評価は予算の都合上行っていないが、監事監査を行っている。
	7	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		・訪問に関する研修はない。	・訪問をテーマにした研修は開催していないが、応用行動分析等の研修内容も訪問支援につながっている。
適切な 支援の 提供	8	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を作成しているか。	○		・わからない。	・課題やニーズを分析し、計画作成をしている。
	9	保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		・わからない。	・家族への聞き取りをし、訪問先施設に確認をした上で作成している。
	10	保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。	○		・担任の先生と計画書の作成を行っている。 ・日程調整の際に意向を確認している。	
	11	保育所等訪問支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○			
	12	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		・わからない。	・初回利用時までには保護者にアセスメントシートの記入をお願いしている。
	13	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されているか。	○		・介入しての具体的な支援は要望がない限り率先して行ってはいない。 ・わからない。	・直接支援については、訪問先施設の意向を考慮し、必要に応じて対応している。
	14	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		・わからない。	・訪問前に計画を確認している。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		・打合せはするが、チームでは行っていない。 ・時間を設けるのが難しい。	・訪問前にチームでの打ち合わせが出来ている。 ・現場職員のクラス担当にも確認している。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		・訪問後に共有している。	

	17	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重して支援を行っているか。	○		・尊重しているが、理念や支援手法は詳しく理解できていない。	・訪問先における支援手法を尊重するとともに、良好な取り組みについては先生方へ情報提供している。
	18	毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善に繋げているか。	○		・管理者が確認している。	
	19	定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		・必要に応じて見直している。 ・わからない。	・R8年度はモニタリングをより計画的に行い、支援の向上を目指す。
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		・児発管が参加している。	
	21	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		・わからない。	・関係機関連携で園を訪問している。 ・関係機関からの事業所訪問も受け入れている。 ・児発管が行っている。
	22	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		・移行前に情報共有している。	
	23	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	○		・研修以外にも施設見学を行っている。 ・わからない。	・研修会を開催している。 ・外部の研修にも参加している。
	24	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	○		・年1回子ども部会に参加。 ・わからない。	・年に1回ある子ども部会に参加している。
	25	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	○		・保護者への報告時に行っている。	
	26	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		○	・今後研修を受けて行う予定。 ・行われていない。 ・わからない。	・R8年度にペアレント・トレーニングの研修を受講予定。
保護者等への説明等	27	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		・契約時に説明している。	
	28	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	○		・適宜行っている。	
	29	保育所等訪問支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		・わからない。	・アセスメントシートにて保護者の意向を確認している。
	30	「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	○			
	31	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	○			
	32	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		○	・保育所等訪問支援のみをご利用の方に向けては行っていない。 ・保護者会は開催していないが、秋祭りで保護者同士、きょうだい同士の関わりはあった。 ・わからない。	・親子教室を開催し、保護者同士の交流を図る。 ・保護者向け勉強会を案内する。
	33	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○			
	34	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		・児発、放デイを併用されている方には、活動写真やおたよりを保護者に送っている。	・連絡は主に公式LINEで行っている。
	35	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○			
36	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○				

訪問先施設への説明等	37	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	○			
	38	保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。	○		・時間を設けてもらい行えている。 ・わからない。	・可能な限り行っている。
	39	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	○		・報告書作成後、保護者に来所していただき報告している。	
	40	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○			
	41	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	○			
非常時等の対応	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○			
	43	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○			
	44	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○			
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○			
	46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○		・身体拘束を行っていない。	・契約書に記載している。